

複合施設 整備事業

の在り方を考える

～町民ワークショップの実施～

広報9月号では、これまでに寄せられた皆さま方の意見や、検討委員会での議論を踏まえ、町がまとめた複合施設基本設計方針の考え方（一部省略）を掲載したほか、町民ワークショップの開催予定についてお知らせしました。

本号では、9月20日に総合福祉会館で開催された第1回町民ワークショップの様子をお伝えします。（10月18日に第2回目を実施しています。）

◆ワークショップの概要

夕方6時に開始となり、主催者あいさつに続いて、設計責任者の藤本さんから設計コンセプトについて概要説明を受け、その後グループ座談会へと進みました。

座談会はABCの3つのグループに分かれ、A『樹木・花・健康』、B『共用スペース（回廊・カフェ・サークル活動室）』、C『文化ホール』のそれぞれのテーマについて意見を出し合っていたいただきました。話し合いの結果を整理し、まとめたものをいくつかお示します。



座談会には藤本さんも参加した

◆Aグループ

テーマ『樹木・花・健康』

樹木について

- ・北海道の樹木を検討する。（ツリバナ、マユミなど）
- ・丈夫な樹木を検討する。（ヤマボウシなど）
- ・落ち葉処理やメンテナンスが容易な樹木を選定する。

花について

- ・樹木の間隔に配慮する。
- ・出入口ごとやコーナーごとに花を分ける、普段利用しない出入口は特別なものにするなどの検討をする。

- ・一年草、宿根草、群植など手入れに配慮したうえで選定する。
- 維持管理体制について
- ・管理体制を整備し、予算を確保する。
- ・ボランティア体制をつくる。
- ・フラワーマスターが中心となる体制を検討する。

◆Bグループ

テーマ『共用スペース（回廊、カフェ、サークル活動室）』

回廊について

- ・車いすが通り抜けられる幅を確保しながら、机や椅子を配置する場所をつくり、読書や勉強ができるスペースとする。
- ・回廊にサークル活動の展示棚などのスペースを設置する。

トイレについて

- ・バス停近くなど施設内にバランス良く配置する。

カフェについて

- ・本が置かれており、読書やパソコンができる空間とする。
- ・食事が可能な空間、設備とする。
- サークル活動室について
- ・庭が見える空間とする。

診療所について

- ・少人数用、大人数用と大きさの違う部屋を分散して配置する。
- 診療所近くに駐車場を配置し、入口までの動線を短くする。

- ・救急車の動線を考慮する。
- その他
- ・正面、出入口をわかりやすくする。
- ・コンビニの誘致を検討する。

◆Cグループ

テーマ『文化ホール』

文化ホールについて

- ・バリアフリー対応とする。
- ・キッズスペース設置を検討する。
- ・自動販売機の設置場所を検討する。
- ・町外者からも利用され、稼働率が高い文化ホールを目指すべきである。
- ・楽器の運搬が容易な動線とする。
- ・音響操作等の設備は、使いやすいものとする。
- ・控室は、間仕切り壁を可動式にするなどの工夫により、部屋数を変更できるようにする。

カフェについて

- ・休日イベント時の営業を検討する。



9月20日のワークショップで出された意見を反映して作られた模型